

株式会社大林組 PRIME 1802
2025年3月期 第1四半期 決算説明会
プレゼンテーション資料

2024年8月6日(火)



(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

- 1 2025年3月期 第1四半期 業績

 - 2025年3月期 第1四半期 業績サマリー
 - 連結／単体 PL
 - 連結営業利益の増減要因
 - 連結／単体 受注高

- 2 2025年3月期 業績予想

 - 2025年3月期 業績予想サマリー
 - 連結／単体 PL(見通し)
 - 連結営業利益の増減要因(見通し)
 - 連結／単体 受注高(見通し)

- 3 事業別の概況

 - 国内建築事業(単体)
 - 国内土木事業(単体)
 - 海外建設事業(連結)
 - 不動産事業その他(連結)
 - 連結／単体 比較

1

2025年3月期 第1四半期 業績

- 2025年3月期 第1四半期 業績サマリー
- 連結／単体 PL
- 連結営業利益の増減要因
- 連結／単体 受注高

2025年3月期 第1四半期 業績サマリー



連結売上高

5,747億円

前年同期比 +872億円 (+17.9%)
進捗率 22.9%

手持ち工事は建築・土木ともに順調な進捗
海外建設事業においては為替の影響に加え
MWH社の連結子会社化が寄与

連結営業利益

153億円

前年同期比 +112億円 (+268.9%)
進捗率 16.5%

国内建築事業において、採算性の良い案件
への入れ替えが進んだこと、一部手持ち工事
の利益が改善したことなどにより増益

当期純利益

258億円

前年同期比 +192億円 (+292.1%)
進捗率 29.7%

営業利益の増加に加え、政策保有株式の売
却が着実に進行し、前年同期から大幅に増益

連結受注高

6,937億円

前年同期比 +1,589億円 (+29.7%)
進捗率 27.5%

海外土木事業のうち北米子会社において、
MWH社の連結子会社化や、大型案件の受注
などが寄与

2025年3月期 第1四半期業績 サマリー

連結売上高

- ・ 5,747億円、前期同期比872億円の増
- ・ 第1四半期の連結売上高としては過去最高
- ・ 単体では、国内建築・国内土木とも手持ち工事が順調に進捗
- ・ 連結では、海外建設事業では前年度M&Aにて買収したMWH社が本年度から連結対象となったことに加え、為替換算の影響により売上高が増加

連結営業利益

- ・ 153億円、前期同期比112億円の増
- ・ 国内建築事業において、前年同期が低水準だった反動増、採算性がよい案件への入れ替えがあったことなどから増益

当期純利益

- ・ 258億円、前年同期比192億円の増
- ・ 第1四半期の当期純利益としては過去最高
- ・ 政策保有株式の売却が着実に進捗

連結受注高

- ・ 6,937億円、前年同期比1,589億円
- ・ 国内では、堅調な需要が続いていることから、建築・土木とも順調に進捗
- ・ 海外では、土木事業におけるMWH社の連結子会社化や大型工事の受注により、前年同期比で増加

連結／単体 PL

(単位:億円)



		連結			単体					
		2023年度 第1四半期 実績 A	2024年度 第1四半期 実績 B	増減額 B-A	2023年度 第1四半期 実績 C	2024年度 第1四半期 実績 D	増減額 D-C			
完成工事高	建築	3,662	4,187	+524	2,678	2,929	+251			
	土木	1,015	1,353	+337	689	757	+67			
	計	4,677	5,540	+862	3,368	3,687	+318			
不動産事業等売上高		196	206	+10	44	47	+3			
売上高		4,874	5,747	+872	3,413	3,734	+321			
完成工事総利益	建築	-	-	-	4.2%	111	7.1%	208	+96	
	土木	-	-	-	14.3%	98	13.4%	101	+2	
	計	6.9	324	8.3	461	6.3	210	8.4	309	+99
不動産事業等総利益		23.3	45	27.0	55	23.4	10	18.4	8	△1
売上総利益		7.6	370	9.0	517	6.5	220	8.5	318	+97
販売費及び一般管理費		6.7	328	6.3	364	6.7	228	6.2	233	+5
営業利益		0.9	41	2.7	153	△0.2	△7	2.3	84	+92
経常利益		1.9	93	3.5	203	1.5	51	4.3	158	+107
親会社株主に帰属する 当期純利益		1.4	65	4.5	258	1.1	38	6.5	241	+202

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

5

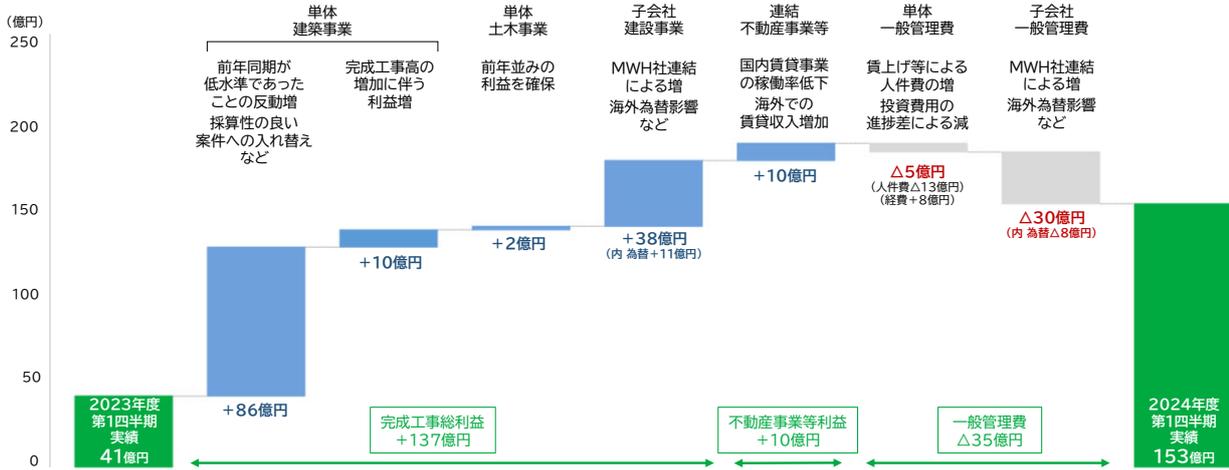
2024年度第1四半期 連結/単体実績

連結営業利益の前年同期との比較は6ページを参照

連結営業利益の増減要因



- 単体建築事業において、前年同期の完成工事総利益が低水準であったこと、採算性の良い案件への入れ替えが進んだことなどにより、第1四半期の営業利益は前年同期から112億円増の153億円となった。



連結営業利益の増減要因(2023年度第1四半期との比較)

- 単体国内建築事業において、前年度は第1四半期が低調な水準だったのに対し、今年度はその反動増や、採算性のよい案件へ入れ替えがあったことなどにより、前年同期から利益が改善
- 海外子会社において、MWH社の連結子会社化により完成工事総利益・一般管理費とも増加

その他詳細は14ページ以降を参照

連結／単体 受注高

(単位:億円)



		連結			単体			
		2023年度 第1四半期 実績A	2024年度 第1四半期 実績B	増減額 B-A	2023年度 第1四半期 実績C	2024年度 第1四半期 実績D	増減額 D-C	
建設事業	建築	国内	2,578	2,474	△103	2,436	2,391	△45
		海外	1,764	1,504	△259	8	26	+18
		計	4,342	3,979	△362	2,445	2,417	△27
	土木	国内	621	842	+221	397	645	+248
		海外	199	1,651	+1,452	157	306	+149
		計	820	2,493	1,673	555	952	+397
計	国内	3,199	3,316	+117	2,833	3,036	+202	
	海外	1,963	3,156	+1,192	166	333	+167	
	計	5,162	6,473	1,310	3,000	3,370	+369	
不動産事業等		186	464	+278	44	47	+3	
合計		5,348	6,937	+1,589	3,044	3,418	+373	

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

7

2024年度第1四半期 連結/単体 受注高

- 引き続き、施工キャパシティを考慮の上、採算性を重視した受注活動を実施

2

2025年3月期 業績予想

- 2025年3月期 業績予想サマリー
- 連結／単体 PL(見通し)
- 連結営業利益の増減要因(見通し)
- 連結／単体 受注高(見通し)

※ 2024年5月13日発表値から変更していません。

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

8

2025年3月期 業績予想サマリー



連結売上高	2兆5,100億円	前期比 +1,848億円 (+7.9%)	前年度買収したMWH社の連結子会社化により、1,000億円超の大幅増
連結営業利益	930億円	前期比 +136億円 (+17.2%)	国内建築での前期損失の反動、完成工事高の増加、工事採算の改善等により大幅な利益回復を見込む
当期純利益	870億円	前期比 +119億円 (+15.9%)	営業利益の改善に加え、政策保有株式の売却も計画どおり着実に実行
連結受注高	2兆5,200億円	前期比 +69億円 (+0.3%)	国内建築を中心に旺盛な需要が続く見込みであり、前年度並みの高水準を維持

※ 2024年5月13日発表値から変更していません。

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

9

2025年3月期業績 サマリー

2024年5月13日発表値から変更なし

連結売上高

- ・ 2兆5,100億円、前期比1,848億円の増の見込み
- ・ 前年度買収したMWH社が連結対象となり、同社売上高で1,000億円超の増加

連結営業利益

- ・ 930億円、前期比136億円の増の見込み
- ・ 国内建築事業で前年度損失計上からの反動増や工事採算が改善することなどにより大幅回復の見通し

当期純利益

- ・ 870億円、前期比119億円の増の見込み
- ・ 引き続き政策保有株式の売却を推進

連結受注高

- ・ 2兆5,200億円、前期比69億円の増の見込み
- ・ 国内・海外とも施工キャパシティを考慮した受注活動を継続

連結／単体 PL(見通し)

(単位:億円)



		連結			単体						
		2023年度 実績 A	2024年度 見通し B	増減額 B-A	2023年度 実績 C	2024年度 見通し D	増減額 D-C				
完成工事高	建築	17,220	17,700	+479	12,402	12,650	+247				
	土木	4,847	6,050	+1,202	3,156	3,200	+43				
	計	22,067	23,750	+1,682	15,558	15,850	+291				
不動産事業等売上高		1,183	1,350	+166	263	250	△13				
売上高		23,251	25,100	+1,848	15,821	16,100	+278				
完成工事総利益	建築	-	-	-	6.3%	783	7.9%	1,005	+221		
	土木	-	-	-	15.4%	485	13.9%	445	△40		
	計	8.6%	1,888	8.8%	2,100	8.2%	1,269	9.1%	1,450	+180	
不動産事業等総利益		26.0%	307	21.5%	290	△17	19.7%	51	14.0%	35	△16
売上総利益		9.4%	2,196	9.5%	2,390	+193	8.3%	1,321	9.2%	1,485	+163
販売費及び一般管理費		6.0%	1,402	5.8%	1,460	+57	5.6%	887	5.9%	950	+62
営業利益		3.4%	793	3.7%	930	+136	2.7%	433	3.3%	535	+101
経常利益		3.9%	915	3.9%	980	+64	3.5%	554	3.9%	635	+80
親会社株主に帰属する 当期純利益		3.2%	750	3.5%	870	+119	3.1%	496	4.2%	680	+183

※ 2024年5月13日発表値から変更していません。

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

10

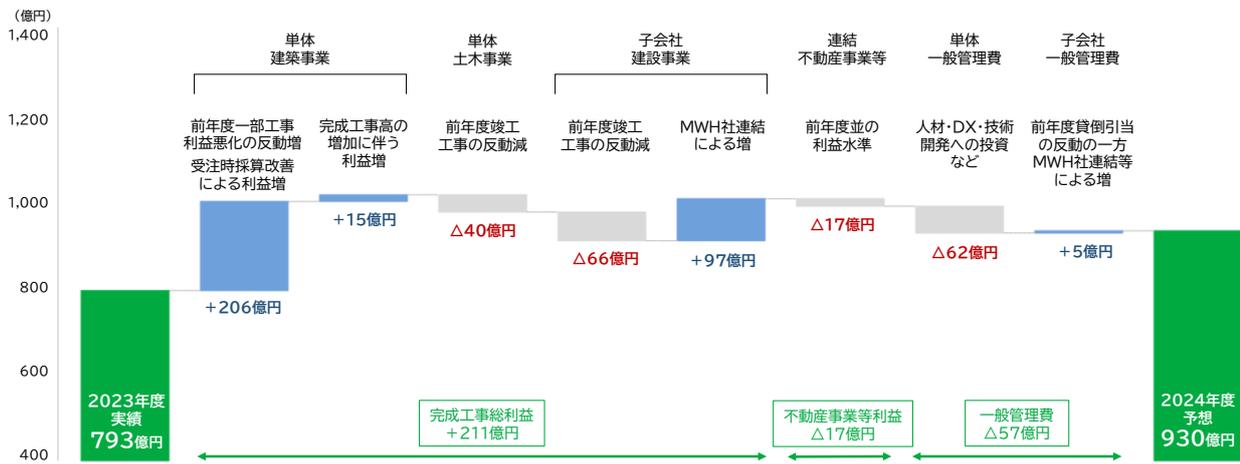
2024年度 連結/単体 PL(見通し)

連結営業利益の前年同期との比較は11ページを参照

連結営業利益の増減要因(見通し)



- 成長投資の進捗により単体一般管理費が増加する一方、国内建築での前期損失の反動や、前年度買収したMWH社の連結子会社化などにより大幅な利益回復を見込む



※ 2024年5月13日発表値から変更していません。

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

11

2024年度 連結営業利益見通しの増減要因(2023年度実績との比較)

- 営業利益は2023年度の793億円から2024年は930億円と大幅な回復を見込む
- 主な要因は国内建築事業における前年度損失計上からの反動増や工事採算改善
- 前年度買収したMWH社も利益に貢献

連結／単体 受注高(見通し)

(単位:億円)



			連結			単体		
			2023年度 実績 A	2024年度 見通し B	増減額 B-A	2023年度 実績 C	2024年度 見通し D	増減額 D-C
建設事業	建築	国内	12,369	13,550	+1,180	11,948	13,000	+1,051
		海外	5,203	3,400	△1,803	37	100	+62
		計	17,573	16,950	△623	11,985	13,100	+1,114
	土木	国内	4,231	3,800	△431	3,280	2,950	△330
		海外	1,745	3,250	+1,504	485	450	△35
		計	5,977	7,050	+1,072	3,766	3,400	△366
	計	国内	16,601	17,350	+748	15,229	15,950	+720
		海外	6,949	6,650	△299	522	550	+27
		計	23,550	24,000	+449	15,751	16,500	+748
不動産事業等		1,580	1,200	△380	263	250	△13	
合計		25,130	25,200	+69	16,015	16,750	+734	

※ 2024年5月13日発表値から変更していません。

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

12

2024年度 連結/単体 受注高(見通し)

2024年5月13日発表値から変更なし

3

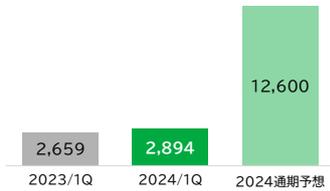
事業別の概況

- 国内建築事業(単体)
- 国内土木事業(単体)
- 海外建設事業(連結)
- 不動産事業その他(連結)
- 連結/単体 比較

国内建築事業(単体)



完成工事高



完成工事総利益/率



受注高



(単位:億円)

進捗率



※2023年度通期実績対比

2024年度第1四半期業績

- 完成工事高は、手持ち大型工事の施工が順調に進捗したことなどにより、前年同期比で235億円の増収
- 完成工事総利益は、前年同期が低水準であったことの反動増や完成工事高の増加による利益増に加え、一部手持ち工事の利益改善や採算性の良い案件への入れ替えにより、前年同期比で96億円の増益

2024年度通期見通し

- 完成工事高は前年並み、受注高は製造業を中心に旺盛な需要が続く見込みであり、引き続き受注時採算の確保を最優先に取り組む
- 完成工事総利益は、前年度からの反動増および採算性のよい案件への入れ替えが進み、1,000億円超の水準を見込む

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

単体国内建築事業

2024年度第1四半期業績

- 完成工事高は、手持ち大型工事の施工が順調に進捗したことなどにより、前年同期から増収
- 完成工事総利益は、前年度は第1四半期が低調な水準だったのに対し、今年度はその反動増や、採算性がよい案件への入れ替えが進んでいることから増益。利益率も改善
- 通期見通しに対し、完成工事高、完成工事総利益とも20%強の進捗

2024年度見通し

- 完成工事高は、前年度と同等程度の1兆2,600億円
- 完成工事総利益は、前年度からの反動増および採算性がよい案件への入れ替えが進むことにより1,000億円超の水準を見込む

受注高

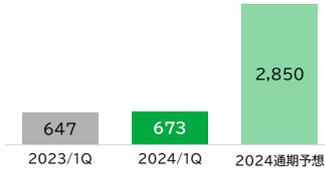
- 製造業を中心に旺盛な需要が続く見込み
- 引き続き施工キャパシティを考慮しながら受注時採算の確保を最優先に取り組む

国内土木事業(単体)

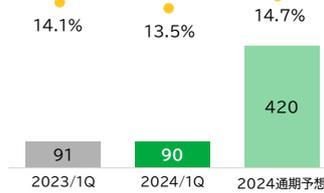


(単位:億円)

完成工事高



完成工事総利益/率



受注高



進捗率



※2023年度通期実績対比

2024年度第1四半期業績

- 完成工事高は、手持ち工事の順調な進捗により前年同期比で増収
- 完成工事総利益は、前年同期並みの水準で推移

2024年度通期見通し

- 完成工事高は、引き続き手持ち工事が順調に進捗し、前年度並みで推移する見込み
- 完成工事総利益は420億円とし、原価低減や追加請負金の獲得による上積みを目指す

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

単体国内土木事業

2024年度第1四半期業績

- 完成工事高は、手持ち工事の順調な進捗により前年同期から増収
- 完成工事総利益は、前年同期と同水準

2024年度見通し

- 完成工事高は、引き続き手持ち工事が順調に進捗し、前年度と同等程度の2,850億円を見込む
- 完成工事総利益は、420億円から原価低減や追加請負金の獲得による上積みを目指す
- 通期見通しに対し、完成工事高、完成工事総利益とも20%強進捗

受注高

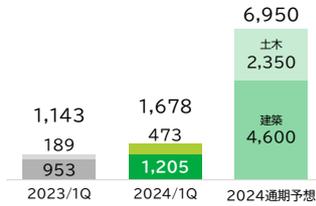
- 2024年度計画値2,950億円は、前年度の受注実績と施工キャパシティを考慮した金額

海外建設事業(連結)

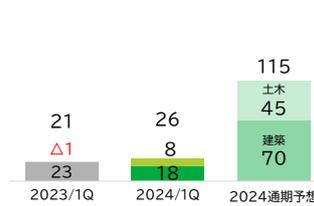


(単位:億円)

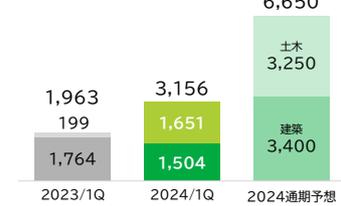
完成工事高



営業利益



受注高



進捗率



※2023年度通期実績対比

2024年度第1四半期業績

- 完成工事高は、為替の影響に加え、前年度に買収したMWH社の連結子会社化が寄与し、前年同期比で535億円の増収
- 営業利益は、土木においてMWH社の増加分が寄与し増益となったものの、建築において前年同期に一過性の引き上げ要因があった反動により減益となり、合計では前年同期比で増益

2024年度通期見通し

- 手持ち工事の順調な進捗やMWH社の連結子会社化に加え、前年度に発生した貸倒引当金計上の反動により、前期比で増収増益となる見込み

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

連結海外建設事業

2024年度第1四半期業績

- 完成工事高は、前年度買収したMWH社の連結子会社化による増収に加え、為替の影響もあり、前年度から大幅な増収
- 営業利益は、土木はMWH分の増加分が寄与し増益となったものの、建築は、前年同期に一過性の利益引き上げの要因があった反動により減益となり、合計では前年同期比で微増
- 通期見通しに対し、完成工事高、完成工事総利益とも20%強進捗

2024年度見通し

- 北米・アジアとも手持ち工事の順調な進捗に加え、前年度買収したMWH社の連結子会社化により、増収増益を見込む

受注高

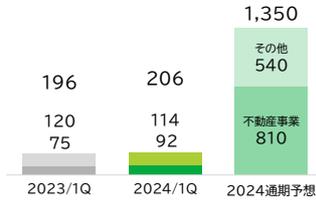
- 為替換算の影響もあり、第1四半期ですでに計画値の40%を超える水準

不動産事業その他(連結)

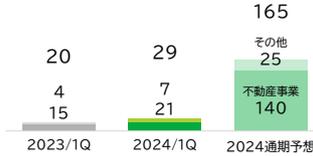


(単位:億円)

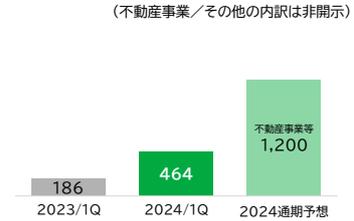
売上高



営業利益



受注高



(不動産事業/その他の内訳は非開示)

進捗率 (不動産事業)



※2023年度通期実績対比

2024年度第1四半期業績

- 不動産事業は、賃貸物件の稼働率低下の影響があるものの、大林新星和不動産における分譲事業や、大林プロパティズUKにおける賃貸収入の増加により、前年同期比で増収増益
- 受注高は、PFI事業での大型案件落札により増加

2024年度通期見通し

- 不動産事業の営業利益は、過年度に実施した私募ファンド等への物件売却や、賃貸物件の稼働率低下などにより、前期比で減益を見込む
- 今年度も引き続き新規投資および私募ファンドへの物件売却などによるポートフォリオの入れ替えを機動的に実施

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

不動産事業その他(連結)

2024年度第1四半期

- 国内賃貸事業は、これまでの私募ファンドへの物件組み入れによる賃貸収入減や賃貸物件の稼働率低下により、当初見通しのおり前年同期比で減益
- 大林プロパティズUKにおける賃貸収入増加などにより、トータルでは増収・増益

2024年度見通し

- 営業利益は私募ファンドへの物件組み入れによる賃貸収入減や賃貸物件の稼働率低下により減益の見込み

受注高

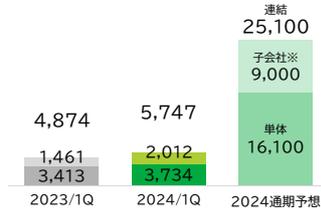
- PFI事業にて大型案件の受注あり

連結／単体 比較

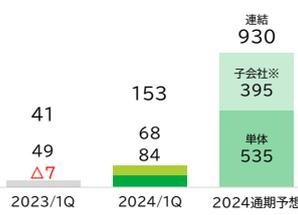


(単位:億円)

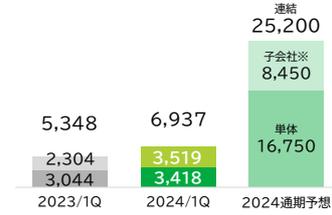
売上高



営業利益



受注高



連単倍率

1.43倍	1.54倍	1.56倍
-------	-------	-------

-	1.81倍	1.74倍
---	-------	-------

1.76倍	2.03倍	1.50倍
-------	-------	-------

※連結社訳を含む

2024年度第1四半期業績

- 単体は、国内建築・国内土木とも手持ち工事が順調に進捗したこと、国内建築において採算性の良い案件への入れ替えが進んだことなどにより増収増益
- 子会社は、前年度に買収したMWH社の連結子会社化が寄与したことなどにより増収増益

2024年度通期見通し

- 単体は、国内建築において手持ち工事が順調に進捗すること、また損失引当の反動や受注時採算の改善に伴い利益改善が進むことにより、増収増益の見込み
- 子会社は、前年度に買収したMWH社の連結子会社化により、増収増益となる見込み

連結／単体 比較

- 2024年度は、連結・単体とも増収増益を見込む
- 第1四半期は、売上高・営業利益・受注高とも前年同期を上回った